

経済産業省  
産業構造審議会・地域経済産業分科会  
地域生活維持政策小委員会

## FPoS を活用した地域データ連携プラットフォームと エッセンシャルサービスの提供について

めぶくグラウンド株式会社  
my FinTech 株式会社

2026年2月25日

# 本日の登壇者

## めぶくグラウンド株式会社

- デジタルグリーンシティの創成を目指した官民共創会社
- めぶくIDの発行、データ連携基盤の開発・管理・運用
- めぶくIDを利用したアプリケーションサービスの開発・管理・運用

### 株主

前橋市  
日本通信(株)  
(株)ジンス  
カネコ種苗(株)  
(株)コシダカホールディングス  
(株)群馬銀行  
(株)東和銀行  
しのめ信用金庫  
その他前橋の中小企業等 49株主

### 代表取締役会長 磯俣克平

公認会計士・米国公認会計士  
my FinTech(株) 取締役  
ワールドホールディングス(株) 取締役  
学校法人西南学院 理事



元 デロイトトーマツグループ ボード副議長  
元 有限責任監査法人トーマツ 執行役包括代表補佐  
元 Deloitte Energy & Resources Asia Pacific Leader

## my FinTech 株式会社

- FPoS(Fintech Platform over SIM)に基づく電子証明書発行事業を行う会社
- 2021年、スマートフォンに搭載する電子証明書として初めて電子署名法に基づく主務大臣の認定を受けた

### 株主

日本通信(株)  
Socio Future(株)  
アクセンチュア(株)  
(同)デロイトトーマツ

### 代表取締役会長・社長 福田尚久

日本通信(株) 代表取締役社長・CEO  
めぶくグラウンド(株) 取締役  
デジタル庁 デジタル化横展開推進協議会  
デジタル認証コミュニティリーダー

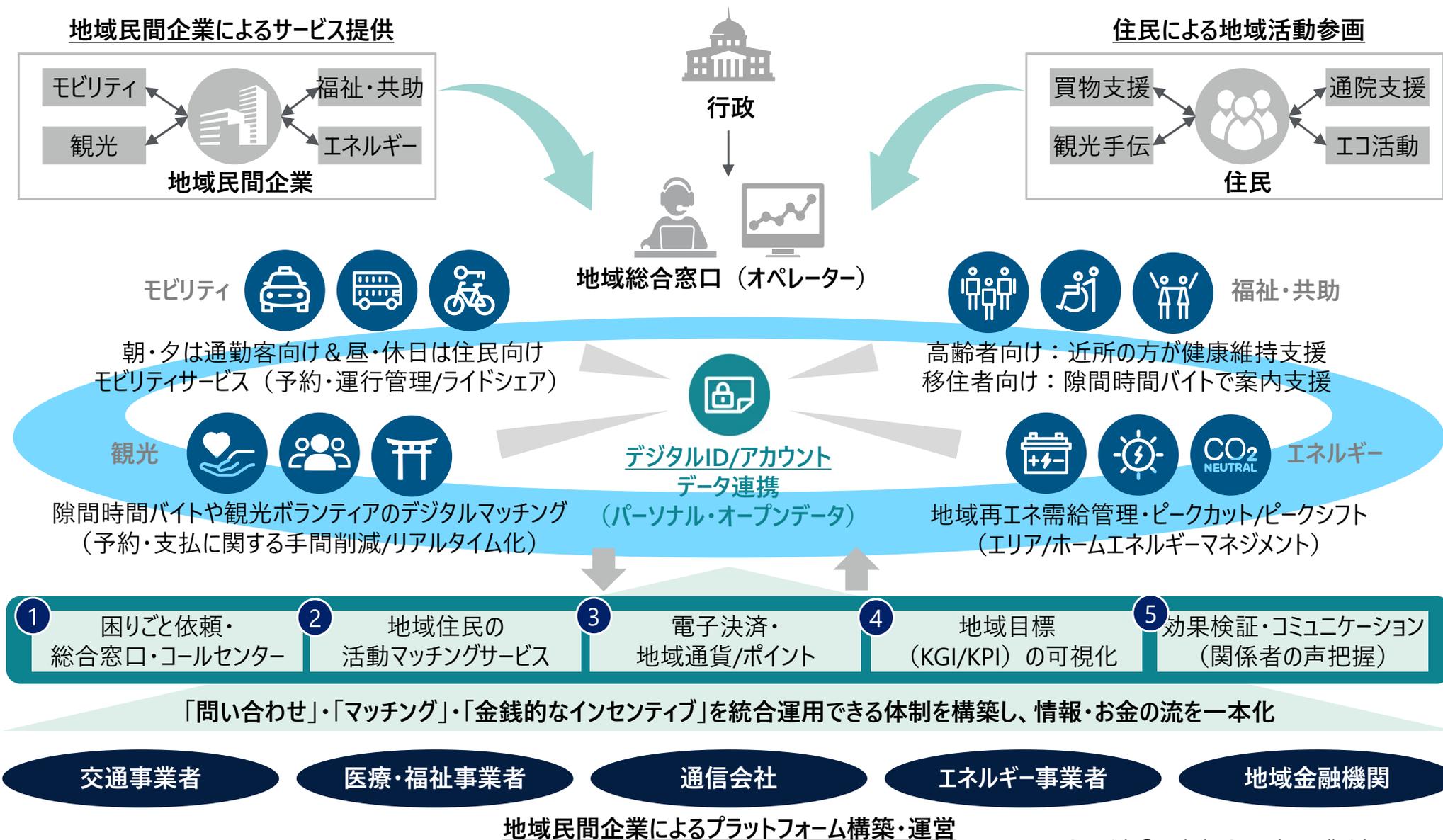


元 Apple 米国本社 副社長  
元 前橋工科大学 理事長

# **FPOS (Fintech Platform over SIM) の概要と活用事例**

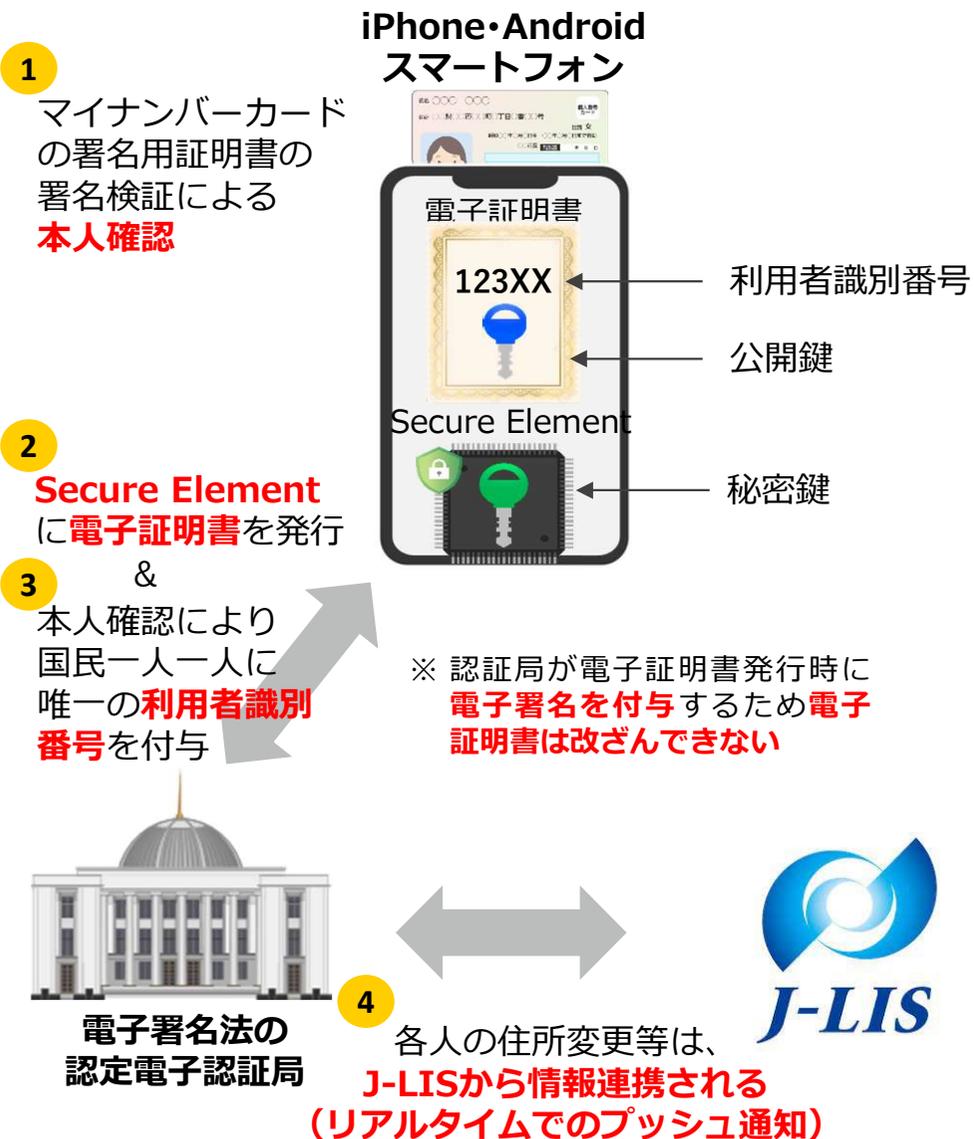
# 労働人口減少対策として、官民連携の事業主体が中心となり、デジタルIDと地域オペレーションセンターを活用した持続可能な広域での地域運営の仕組みの構築を目指している

## デジタルIDを活用した地域オペレーション（＝生活基盤プラットフォーム）のイメージ

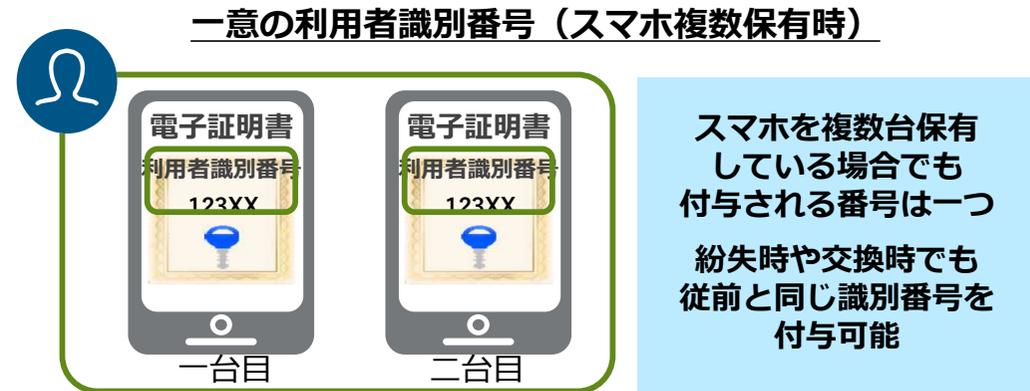


# 金融庁のFinTech実証実験ハブから始まったFPoSは、MNCにより本人確認を行い電子証明書発行と利用者識別番号（共有型ID）付与によって、パーソナルデータ連携社会を実現

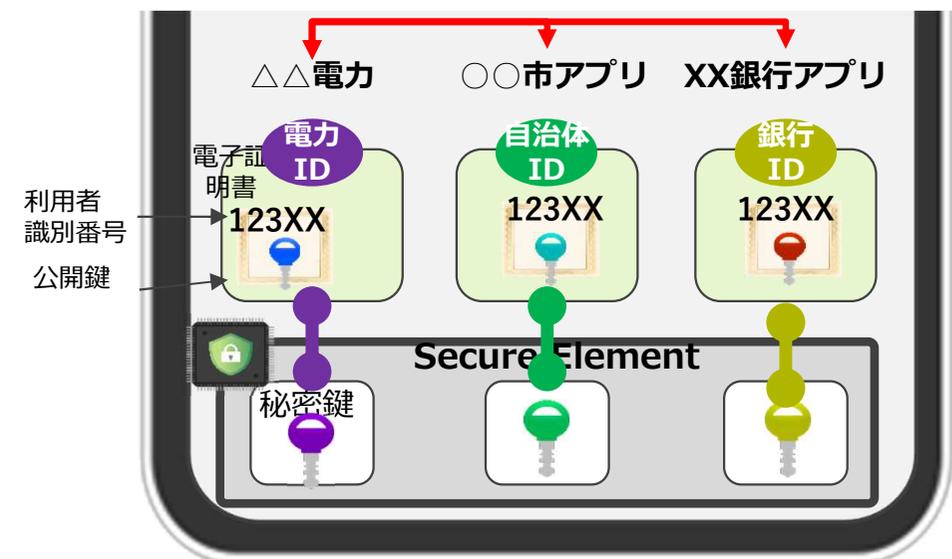
## デジタル認証モジュールのアーキテクチャー



## 一意の利用者識別番号と共有型ID

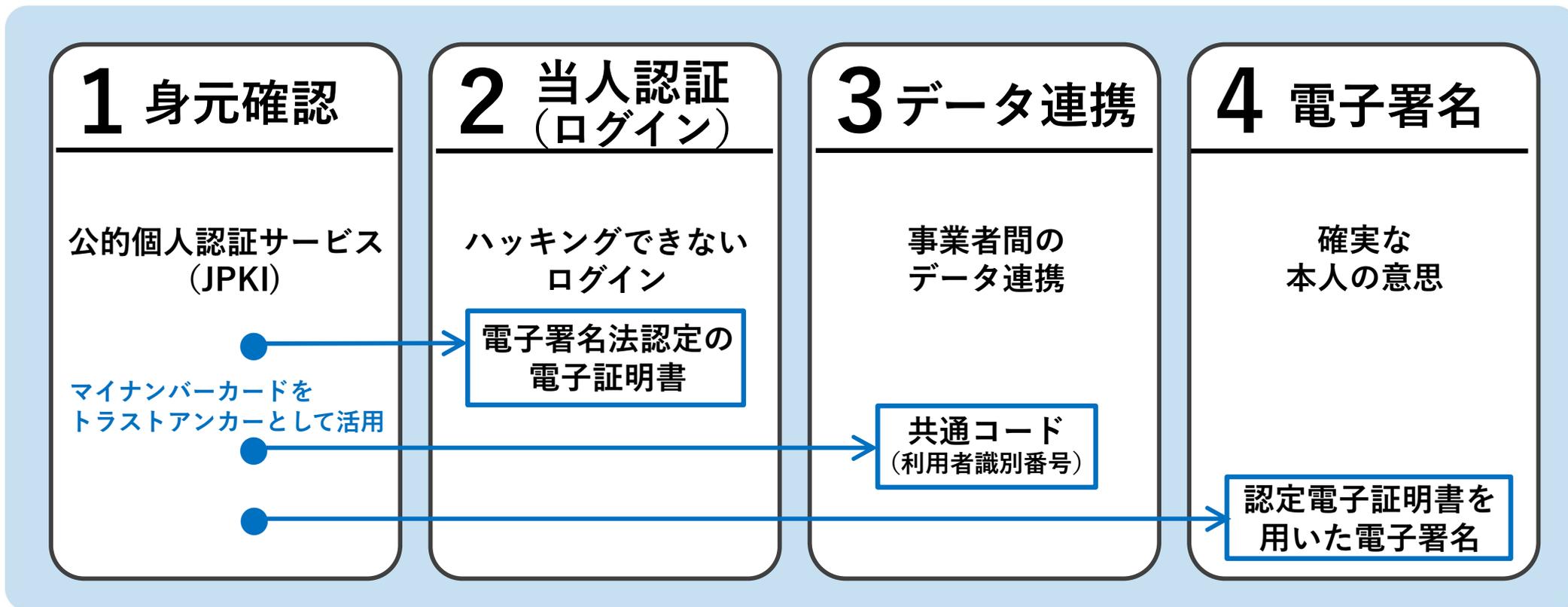


同一の利用者識別番号を“共通コード”としてデータ連携を行う  
サービスアプリ毎に電子証明書を発行して個別のID名称を付与しながら、同じ共通コード（利用者識別番号）を用いてデータ連携が可能



FPoSは、身元確認・当人認証だけでなく、パーソナルデータ連携・電子署名も可能  
※2024年10月に「FPoSライブラリ」が電子署名法の認定を取得

FPoS（Fintech Platform over SIM）の4大機能



+ $\alpha$  : 「FPoSライブラリ」として提供  
➡ 各社のアプリに容易・安価に組み込み可能

利用者が自身の明示的な意思に基づいて、いつでも主体的に提供するデータの選択ができることが不可欠であり、デジタル認証モジュールはで指一本の操作でそれを可能とする

## 自己主権型データ管理機能（ダイナミックオプトイン）



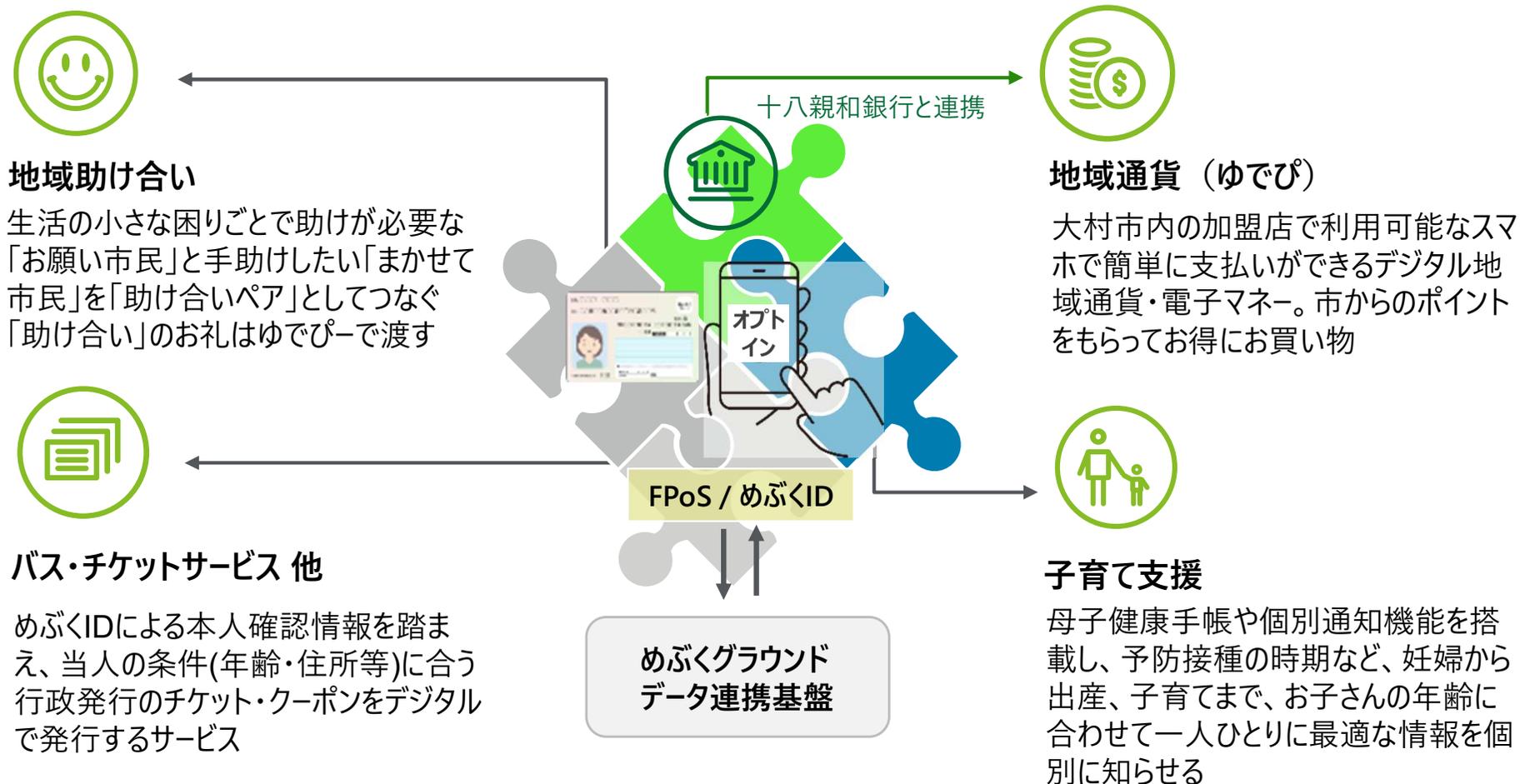
### ダイナミックオプトイン

- ✓ サービス単位で、利用者自身のパーソナルデータ提供認可を個別に設定  
- 例えば、自分のアレルギー情報を  
A病院には提供OK、  
B病院には提供NG、と設定
- ✓ めぶくアプリ上で、パーソナルデータの提供認可を一括管理
- ✓ 認可／拒否のデータはめぶくIDで電子署名し、エビデンスを保管

# 【長崎県大村市】データ連携基盤を活用した地域のスーパーアプリ＋複数のデジタルサービスの実装など、市民生活の総合DXを推進している

## 長崎県大村市：しあわせ循環コミュニティ事業

- 大村市は空港・高速道路・新幹線が揃いアクセス至便性が高く、子育て世帯をはじめとした方に選ばれ、人口増加を続けている。一方で、人口増加に伴い人と人、人とまちのつながりが希薄化するなど、無縁社会の静かな広がりといった課題が生じている
- このため、共助の精神のもと、あらゆる立場の人々がつながり、支え合う全市民参加型の『しあわせ循環コミュニティ』の実現を目指し、マイナンバーカードをトラストアンカーとしためぶくID等のデジタル技術を活用し、パーソナライズされた個別最適なサービス提供を推進する拡大を実施



参考：長崎県大村市/しあわせ循環コミュニティ事業 Webサイト (<https://www.city.omura.nagasaki.jp/digital/kurashi/dx/shiawase/index.html>)

# 【処方箋連携・薬剤師不足に課題を持つ某市】FPoSを使った処方箋情報連携が進行中

※アプリで受け取り薬局の指定、待ち時間表示、受け取り時間予約などが可能

## 処方箋情報連携イメージ



電子処方箋が届く



希望の薬局を選ぶ



電子処方箋を送る



薬の準備できた通知



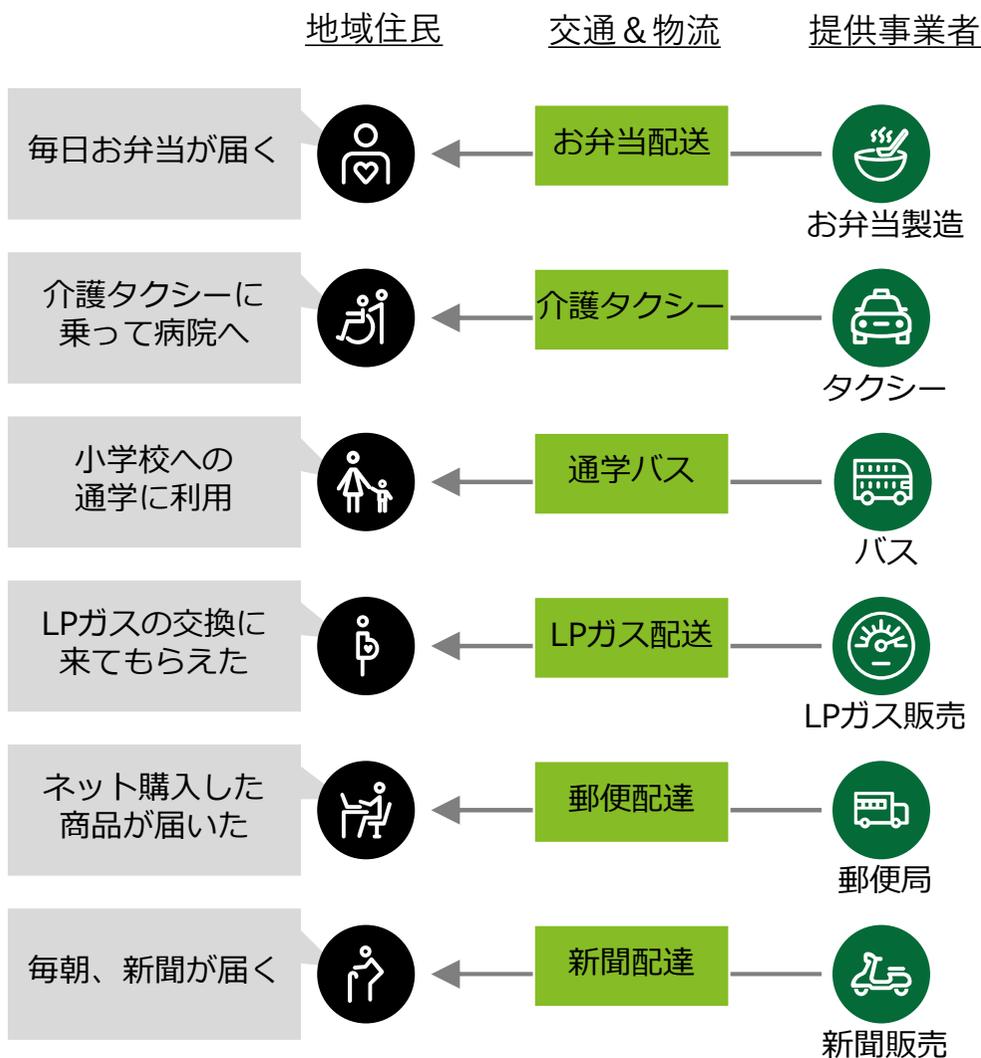
お薬履歴 (お薬手帳)



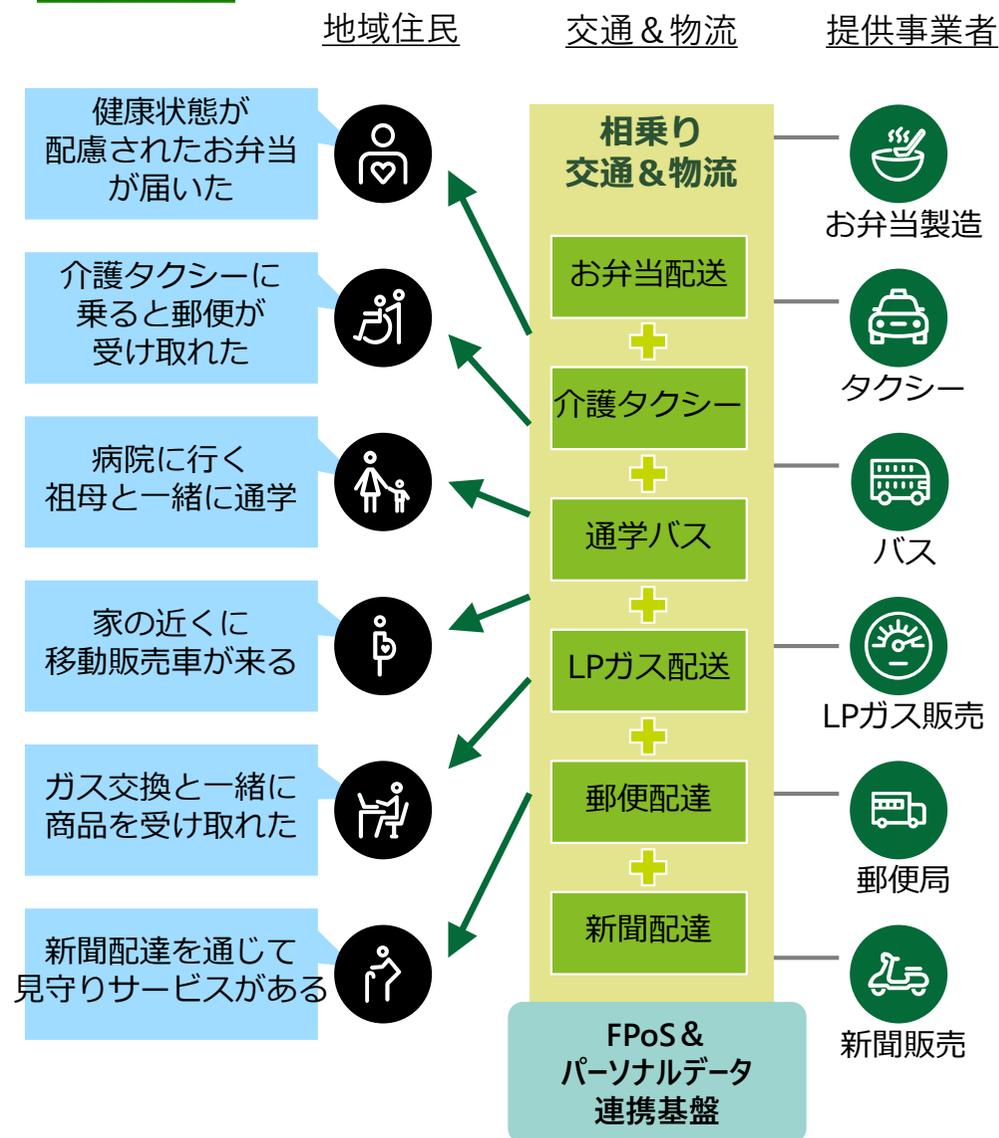
# 地域のエッセンシャルサービスを支えるデータ連携プラットフォーム構想

# 個人情報を複数事業者で共有する仕組みがあれば、より地域住民のニーズに合ったエッセンシャルサービスが提供可能となり、事業者も業務の効率化や売上の拡大が期待できる

## 現状



## 目指す姿 (Target Model)



# 事業者を横断したパーソナルデータの利活用を可能とするFPoSの利用者識別番号は、マイナンバーカードの電子証明書を利用した本人確認により実現

## 個別最適サービス実現の前提

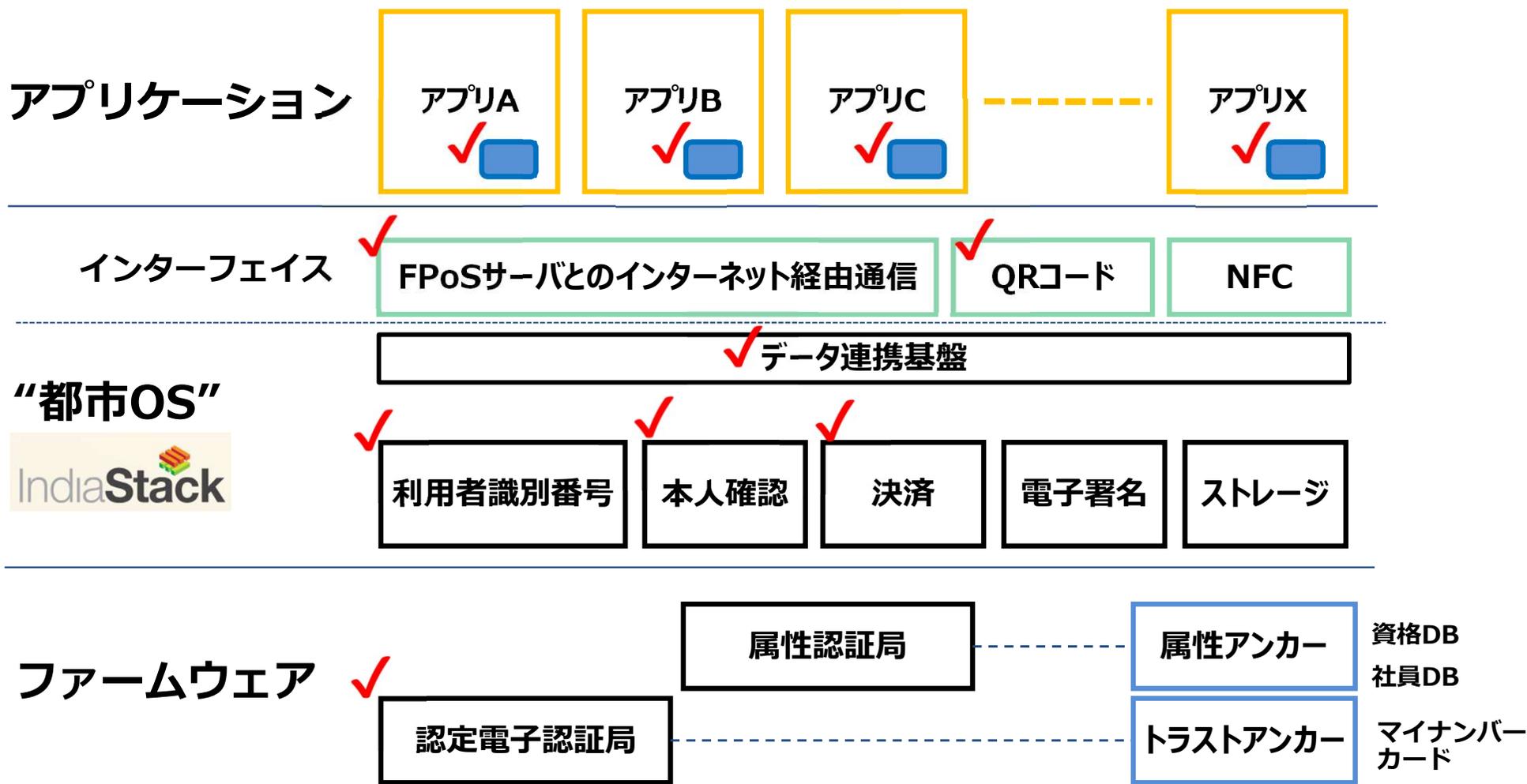
- 事業者を横断してパーソナルデータを活用することが、データ利活用に極めて重要
- そうすることで初めて、個別最適なサービスをつくることができる
- 共通して使える識別番号の代表例はマイナンバー。  
ただし、利用は基本、法令で定められた社会保障・税・災害対策の3分野に限定
- したがって、民間においては、それら利用者識別番号をマイナンバーとは完全に独立した形で提供する必要がある
- FPoSの利用者識別番号は、マイナンバーカードの電子証明書を利用した本人確認により実現した

# プライバシーを保護しつつパーソナルデータ連携が可能な「India Stack」などを参考に設計

※ほとんどのコンポーネントを実装済み、NFCや属性認証局などを現在開発中

## FPoSの設計思想

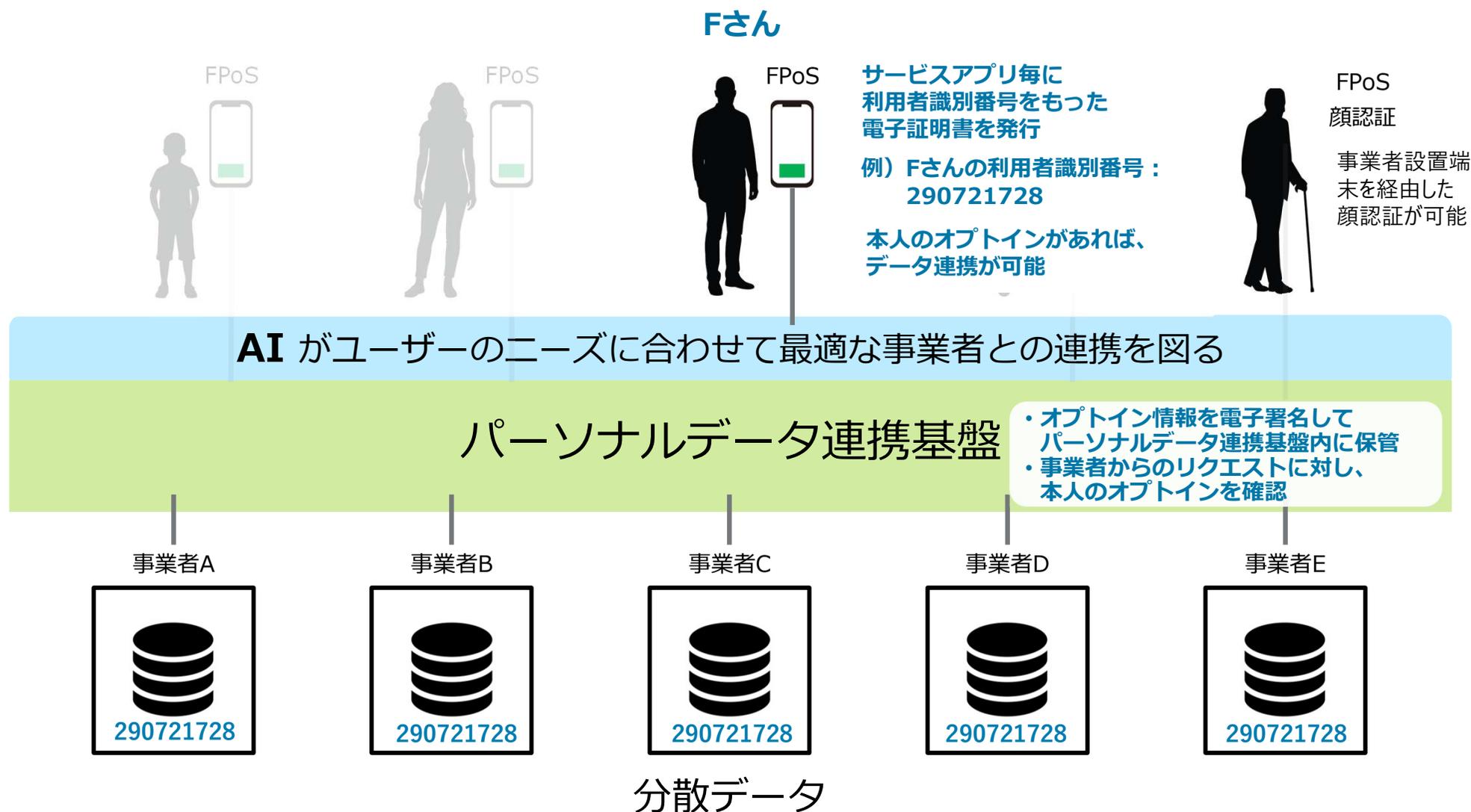
✓ 実装済み      FPoSライブラリ



参考：India Stack Webサイト (<https://indiastack.org/>)

# FPoS & パーソナルデータ連携基盤は1人ひとりに個別最適なサービスを提供する仕組み

## 利用者識別番号による分散したパーソナルデータ連携（イメージ）



**めぶくグラウンド株式会社**  
**〒371-0024**  
**群馬県前橋市表町2-30-8**  
**AQUERU 前橋 6F**

**代表取締役会長 磯俣克平**  
**[kappei.isomata@mebukuba.jp](mailto:kappei.isomata@mebukuba.jp)**

